

令和8年度定期総会祝辞

令和8年4月28日 高知会館 10:30～

みなさん、おはようございます。学長の奥田一雄でございます。

本日、令和8年度高知県高坂学園生涯大学の定期総会の開催にあたりまして、まずは、心からお祝い申し上げます。

定期総会は、生涯大学を構成する A, E, G, I, J, K のすべての組の運営責任者が一堂に会し、生涯大学の基本方針を決める最も重要な行事の1つでございます。と言いますのは、高坂学園生涯大学が学生による自主運営組織であるがゆえに、その運営に係る重要事項を構成員たる学生自らが民主的に決定するしくみと手続き、これがすなわち、定期総会の役割・意義であるからでございます。

さて、昨年12月には私たち生涯大学にとって大変嬉しいことがございました。それは高坂学園生涯大学が読売福祉文化賞を受賞するという栄誉に浴したことです。その理由を少し考えてみました。

生涯大学の学生は講義を聴いて学ぶだけではなく、誰もが多かれ少なかれ何らかの形で大学の業務を担当しています。大学の業務に関わることで自分の居場所ができ、その中で色々な人と出会って触れ合い、その結果、自分はみんなの役に立っているのだという生きがいや醍醐味を感じる学生が実際たくさんいらっしゃいます。そのような学生はさらに新たな学びと人と人との触れ合いを深めていき、それによってますます生きる喜びと意欲を高めていきます。このように、生涯大学の学生が普段行なっている学習や自主的な活動は、まさしく私たち高齢者が高齢者自身のための福祉文化を自ら創り育てているということになります。私はこのことが高く評価され、読売福祉文化賞の受賞に繋がったのではないかと考えています。このような高坂学園生涯大学が有している素晴らしい長所・特質を今後も継続して伸ばし、さらには、そのことをできるだけたくさんの人々にお知らせしていくことが大事であると考えています。

「ともに学ぶ 友と学ぶ」、高坂学園生涯大学のこのキャッチフレーズを実現すべく、本日の定期総会が実りあるものとなるよう祈念いたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。

以上